

平成30年度 京都市立安井小学校 学校教育目標

「輝く 安井の子の育成」

輝くとは、自ら内なるエネルギーを放出しながら光り輝くというイメージです。決して輝かされているのではなく、他の光を反射しているわけでもありません。

子どもが「輝く」状態とは、自分に自信をもって、主体的に自分の力を発揮している状態と考えています。「輝く」経験を重ねた子どもは、自ら人生の課題を見つけ、主体的に課題を克服しようとし、よりよい未来を切り拓こうとする子ども、すなわち「生きる力」が備わった子どもです。

安井小学校の子どもたちは、素直で真面目な児童が多く、目標が定まるとそれに向かって一生懸命頑張ることができる子どもたちです。その力を基盤に、主体的に学習を進める経験を繰り返すことで、『主体的に課題を見つけ、知識・技能を基に課題を解決していく力』を育てていきたいと考えています。

昨今の社会では、急速なグローバル化やAIの飛躍的な進化など絶え間ない技術革新により、将来が予測不能な世の中になってきています。そのような未来で、逞しく自分の人生を切り拓く子どもを育てるため、自分に自信をもって、主体的に自分の力を発揮する子どもを安井小学校教育で育てていきたいと考えています。

平成32年度より本格実施される新学習指導要領では、このような世の中で、社会と繋がりながらよりよく生きていく「生きる力」を育む内容に大きく変更されています。この「生きる力」はこれまでの「生きる力」に加えて、変動する社会に対応するため、「答えのない課題に対し、多様な他者と協働する中で、新たな考え方を見いだしながら、自分なりの解決策を見いだし、実行していく力」と定義されています。そのためには子どもに必要な「資質・能力」を学校教育課程の中で明らかにし、「何ができるようになるか」という明確なめあてを教職員一同で共有しながら学校教育を進めていきます。

安井小学校の6年間で子どもが輝く瞬間を何度も積み重ねることで、自分の知識と経験に自信をもって、自ら課題を解決していく子どもを育んでいきます。

